

# 広域道路ネットワークの強化の方向性

---

## 広域道路ネットワークの課題等への対応

広域道路ネットワークについては、都市間連絡速度、高速道路や一般道路の渋滞、拠点へのアクセス性、災害時のリダンダンシーなどの課題の解消を図るため、次の基本戦略に沿って、強化を図っていく必要がある。

# 新たな広域道路ネットワークの強化の方向性(基本戦略案)

## 1) 中枢中核都市等を核としたブロック都市圏の形成

人口減少社会への対応や自動運転技術の進展等を踏まえ、中枢中核都市※1や連携中枢都市圏※2、定住自立圏※3等の経済・生活圏を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する。

※1 政令指定都市、県庁所在地、中核市など(東京圏を除く)

※2 地方圏において、昼夜間人口比率概ね1以上の指定都市・中核市と一体で形成する都市圏(三大都市圏を除く)

※3 人口5万人程度以上で昼夜間人口比率1以上の中心市と連携して形成する生活圏(三大都市圏を除く)

## 2) 我が国を牽引する大都市圏等の競争力や魅力の向上

三大都市圏※4やブロック都市圏※5内の拠点間連絡、環状連絡を強化し、都市圏の競争力や魅力の向上を図る。

※4 圏央道内、東海環状内、関西大環状内の地域

※5 中枢中核都市、連携中枢都市圏

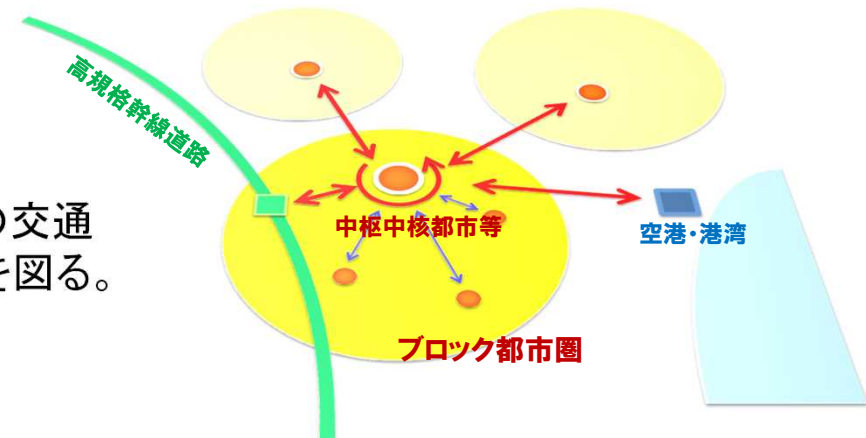
## 3) 空港・港湾等の交通拠点へのアクセス強化

グローバルな対流を促進するため、空港・港湾等※6の交通拠点へのアクセスを強化し、人やモノの流れの効率化を図る。

※6 拠点空港、その他ジェット化空港

国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾

三大都市圏や中枢中核都市等の代表駅、コンテナ取扱駅



## 4) 災害に備えたりダンダンシー確保・国土強靱化

広域道路ネットワークを強化することにより、巨大災害や頻発・激甚化する自然災害に備えたりダンダンシーの確保や国土強靱化を推進する。

## 5) 国土の更なる有効活用や適正な管理

広域道路ネットワークを強化することにより、アジア・ユーラシアダイナミズムを踏まえた日本海・太平洋2面活用型国土の形成や、半島地域を含めた国土の更なる有効活用・適正な管理を図る。